

▼桜花を吊るした一式陸上攻撃機(帆足孝治画、個人蔵)



▲「神雷部隊のモサ達」(宇佐市教育委員会蔵)



▲1945年3月18日、米軍機の空襲を受ける宇佐飛行場の一式陸上攻撃機(米軍撮影)

観覧無料

主な展示資料

- ・桜花風防ガラス・照準器・胴体の一部(宇佐市教育委員会蔵)
- ・神雷部隊桜花隊員 中根久喜中尉遺書・遺品箱(宇佐市教育委員会蔵)
- ・神雷部隊桜花隊員 山田恵太郎一飛曹はがき(宇佐市教育委員会蔵)

極限の特攻兵器「桜花」を運用する  
特攻専門部隊「神雷部隊」と宇佐とのかわり

2024年企画展 戦争の記憶をつなぐ

# 神雷部隊と宇佐

2024年

5月24日(金)～8月18日(日) 10時～18時  
(日曜は17時まで)

宇佐市民図書館 2階 渡網ギャラリー (大分県宇佐市上田1017-1)  
TEL0978-33-4600

休館日/月曜(月曜が休日の場合は開館、翌火・水曜休館)、毎月最終木曜  
主催/宇佐市教育委員会

太平洋戦争末期、日本海軍が生み出した特攻機「桜花」。

1.2トンの爆弾に翼を付けた一人乗りの小さな機体は、「一式陸上攻撃機」に搭載され切り離されたら音速に迫る速度で敵艦に体当たりする、生還不能な特攻兵器。

1945年2月、「桜花」を運用する第721海軍航空隊(通称 神雷部隊)の一部が宇佐へ配備された。

3月18日、部隊初出撃の準備中に米軍機が宇佐を空襲、「桜花」の出撃は不可能となった。

その後宇佐から桜花が出撃することはなかったが、終戦時には機体が残っていた。

アクセス



- ・大分自動車道「宇佐IC」から12分
- ・JR柳ヶ浦駅から車で10分
- ・JR宇佐駅から車で15分



- ・大分空港からノースライナーで宇佐市役所前まで75分
- ・宇佐駅から大分北部バスで宇佐市役所前まで15分

